

「明日の自治体経営を語る会」第8回
「総合計画マネジメント（策定、進行管理）の課題と対応策に関する意見交換会」

開催日時：2019年10月28日（月）17:00～19:30

開催場所：機械振興会館6階6-66会議室

自治体参加者：11市区／22名

内訳 市区11（東京都8、神奈川県2、京都府1）

当室参加者：大塚、沼田、大垣、鈴木、土方、山本洋、前河（記） /計7名

1. 開催目的

総合計画のマネジメント（策定、進行管理）を基軸に、「EBPM」や「SDGs」といった新たなトレンドへの対応、「まち・ひと・しごと総合戦略」や都市計画マスタープランなどの他の計画や事務事業評価との整合性の取り方などについて、自治体においてその実務に携わる企画部門の職員の皆様との議論し、ナレッジやノウハウを共有させて頂くことを目的として、「第8回明日の自治体経営を語る会」を開催した。

2. 実施内容

①基調講演

当室の大塚より、「総合計画マネジメントに係る近年の論点について」と題して、当室で実施した自主研究の成果も交えつつ、総合計画の計画構成、「まち・ひと・しごと総合戦略」や「SDGs」との関係性、策定プロセスへの市民参加、「EBPM」を含む行政評価への取組などについて、近年の動向の解説を行った。

写真 1 基調講演の様子



②分科会 1：総合計画の策定における課題と対応の方向性

分科会 1として、「総合計画の策定における課題と対応の方向性」に関して、4～5名ずつ5グループに分かれて意見交換を行った。グループは事前アンケートにおいて提出された参加者の課題意識に基づき構成し、各グループに当室のメンバーが1～2名ずつファシリテーターとして参加した。

各グループには、想定テーマとして「総合計画×○○」を掲げた上で、テーマに限定することなく、幅広く議論を行った。(○○に当てはまるキーワードは、1班：今後のあるべき姿、2班：計画構成の工夫、3班：市民参加、4班：SDGsの活用、5班：個別計画との関係。)

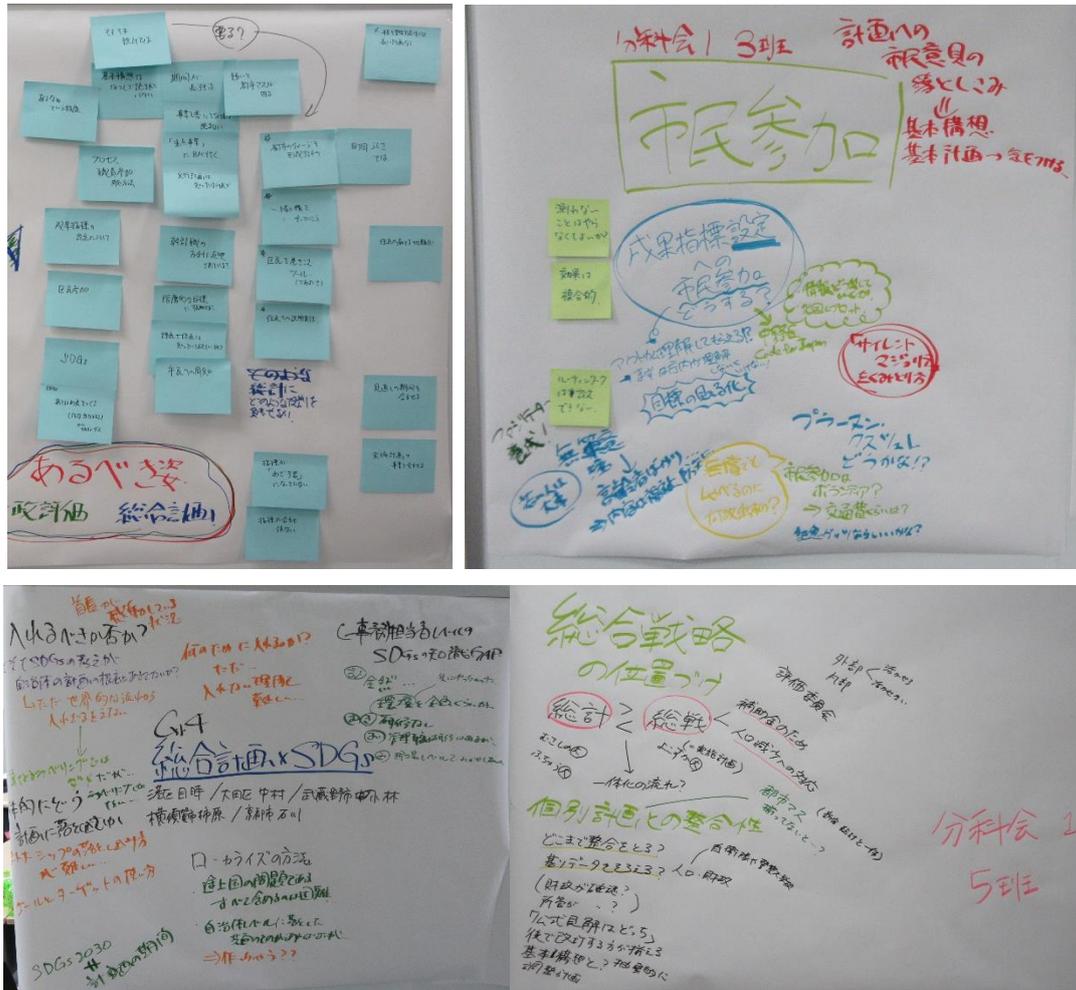
写真 2 分科会1の様子



意見交換の結果、総合計画に関して、住民への周知、成果指標設定への住民参加、担当者のSDGsに関する知識向上、SDGs目標のローカライズ方法、総合戦略や個別計画と合わせた自治体公式見解の捉え方などに関して、課題が浮き彫りとなった。

分科会1で出された意見の概要は、以下に示すとおりである。

写真 3 分科会1で出された意見の整理



②分科会 2：総合計画の進行管理における課題と対応の方向性

分科会 2として、「総合計画の進行管理における課題と対応の方向性」に関する意見交換を行った。意見交換は分科会 1とはグループを変え、分科会 1と同様に、各グループに1～2名のファシリテーターが参加した。

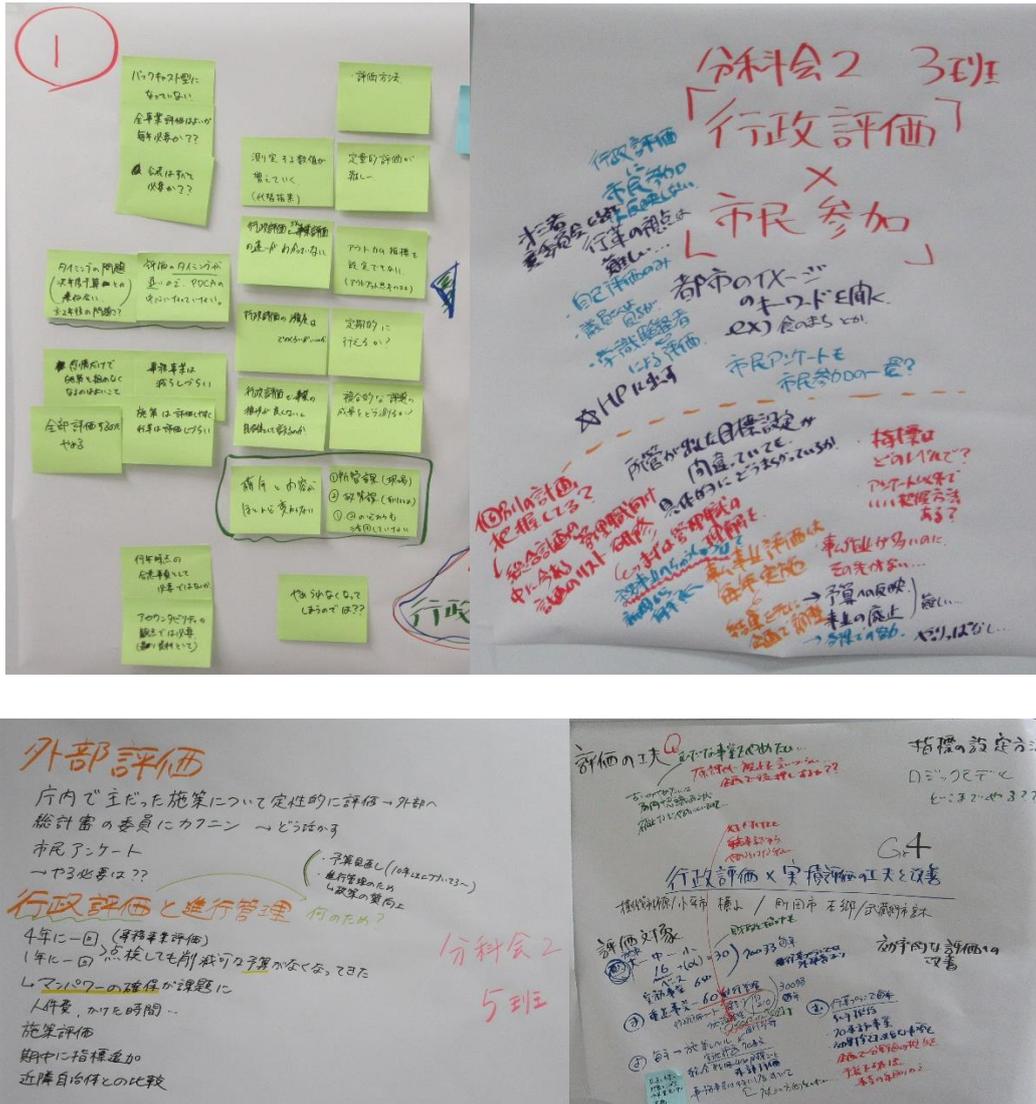
各グループには、想定テーマとして「行政評価×○○」を掲げた上で、テーマに限定することなく、幅広く議論を行った。(○○に当てはまるキーワードは、1班：今後のあるべき姿、2班：成果指標設定上の課題、3班：市民参加、4班：実績評価と改善の仕組み、5班：評価実施体制。)

写真 4 分科会2の様子



意見交換の結果、総合計画の進行管理に関して、所管課や企画課による活用を見据えた評価形式となっていない、評価における住民意見の反映は困難、評価に係るマンパワーの省力化が課題、ロジックモデル化のレベル感の判断が困難などといった意見が挙げられた。分科会2で出された意見の概要は、以下に示すとおりである。

写真 5 分科会2で出された意見の整理



③全体討議

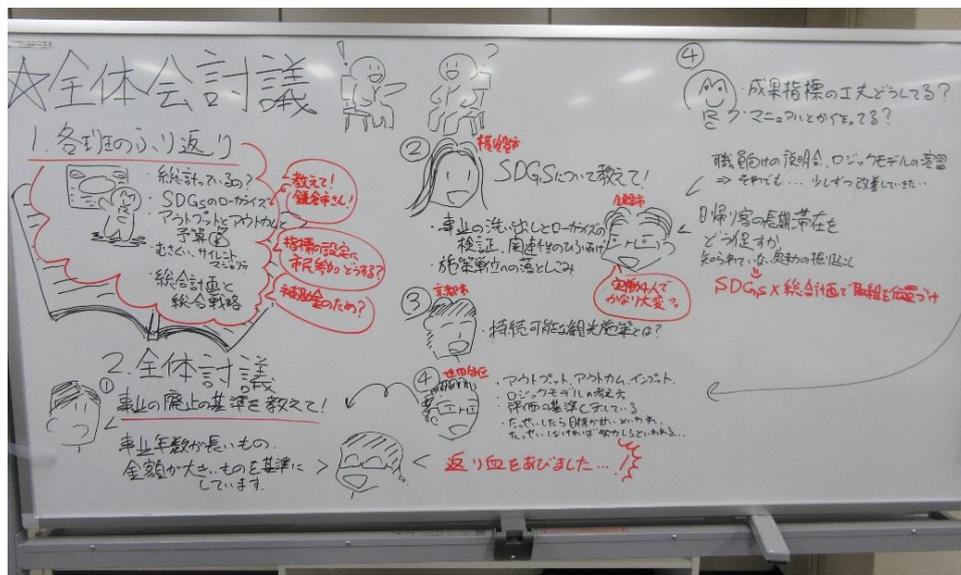
分科会1、分科会2において各グループで出された意見をファシリテーターが全体に発表し、その後全体での意見交換を行った。なお、議論の様子をグラフィック・レコーディングにより記録した。

企画部門と財政部門が協力した事業廃止基準の運用、SDGs目標をローカライズした上で総合計画への反映方法、所管課への成果指標設定支援などに関して提言した自治体や先進的な取組を行っている自治体への質問があり、各自治体の取組についての情報提供がなされた。

写真 6 全体討議の様子



写真 7 グラフィック・レコーディングによる全体討議のまとめ



④閉会・自由意見交換会

分科会1、分科会2、全体討議をもって「第8回明日の自治体経営を語る会」は閉会とし、その後有志により懇親会を兼ねた自由意見交換が行われた。

以上